

創刊号

～つながるバスで未来につながる～

## 戸塚つながるバスニュース

今号の話題： バス路線を維持していくための取組 ってなあに？



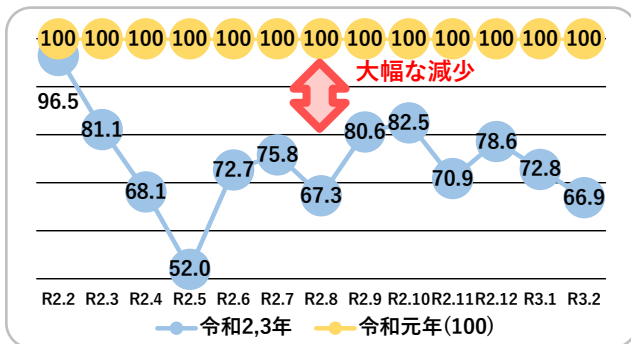
横浜市と神奈川中央交通株式会社（以下「神奈川中央交通」）は、戸塚区南西部でバス路線を維持していくための取組を進めています。この取組を広く皆様にご覧いただくため、取組の概要や、導入を検討している”連節バス”などについて随時ご紹介してまいります。

初回は、取組の背景と目的、内容についてです。

## 取組の背景

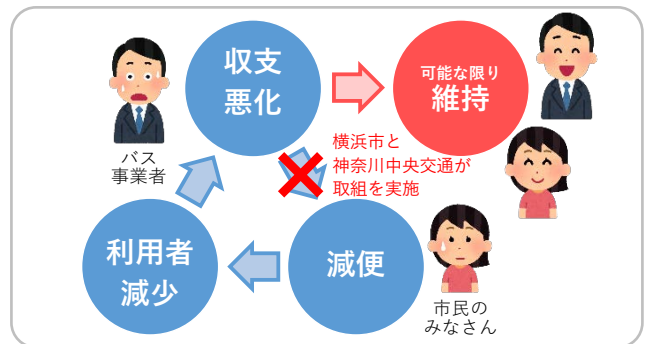
## 利用者の減少と乗務員不足によるバスサービス水準の低下

近年、少子高齢化による利用者の減少や、地下鉄の開通、生活スタイルの変化等により、戸塚区南西部における利用動向は大きく変化しています。また、大型二種免許保有者の減少・高齢化により、運転士も不足しており、利用実態に合わせた運行便数の調整（減便等）が必要な状況です。加えて、コロナ禍によるテレワークや外出抑制などにより、路線バスの収支状況はさらに厳しい状況になっており、利用者が減少→収支悪化→減便→さらに利用者が減少という悪循環が生じかねません。このような状況に対応するため、地域交通施策を担う「横浜市」と運行事業者の「神奈川中央交通」が連携して取組を進めています。



コロナ禍による利用者の減少

(関東管内の路線バス輸送人員の推移：令和元年基準)



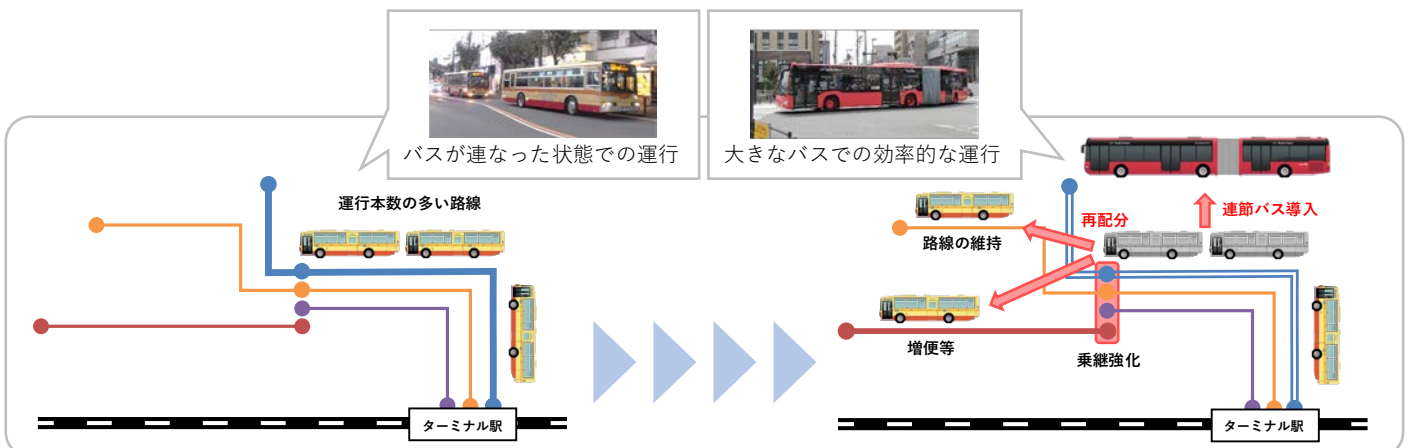
悪循環の改善イメージ

## 目指すもの

## 運行効率化と再配分によるバスネットワークの維持

具体的には、①運行本数が多い路線に連節バスを導入し、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で便数を減らす ②生み出されたバス事業者の経営資源を他の路線に再配分する。このような取組によってエリア全体のバスネットワークを可能な限り維持することを目指しています。

※利用実態に合わせた減便等が避けられない状況であり、連節バスを導入しても、将来的にはエリア全体のサービス水準が今より低下する可能性もあります。



取組の実施イメージ

# 取組を実施する路線と実施内容の全体像（平日）

※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

## 基本 の取組

### 戸塚方面 連節バスの導入

乗車定員が約2倍の**連節バスを導入し**、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で**運行便数を減らす一方で、バス事業者の経営資源を生み出します。**

#### 「俣野公園・横浜薬大前バス停⇨原宿バス停」の1時間あたり便数（目安）

	取組前	（最小・最大の 運行間隔）	取組後	（最小・最大の 運行間隔）
朝（戸塚方面）	17便	（3～6分）	<b>13便</b>	（3～10分）
昼※1（両方向）	7便	（4～13分）	<b>5便</b>	（6～20分）
夕（ドリームハイツ方面）	11便	（4～10分）	<b>7便</b>	（4～15分）

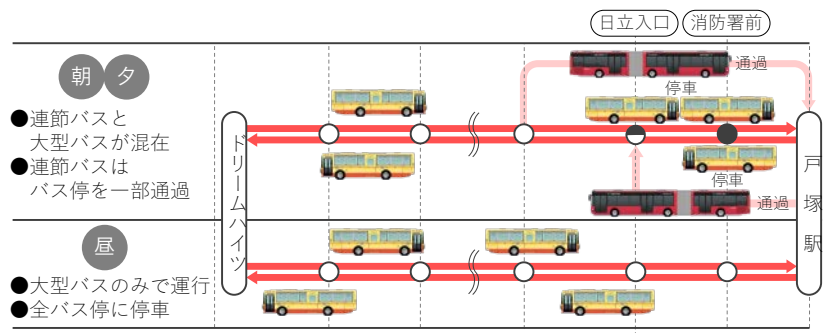
#### 「原宿バス停⇨戸塚バスセンター」の1時間あたり便数（目安）※藤沢発着を含む

	取組前	（最小・最大の 運行間隔）	取組後	（最小・最大の 運行間隔）
朝（戸塚方面）	20便	（1～5分）	<b>17便</b>	（1～10分）
昼※1（両方向）	10便	（1～9分）	<b>8便</b>	（1～20分）
夕（ドリームハイツ方面）	15便	（2～6分）	<b>11便</b>	（2～10分）

※1ダイヤ全体の見直しにより、連節バスが運行する朝夕以外にも一部便数が変わる可能性がある時間帯が存在するため、参考に記載しています。

### 連節バスによる運行のイメージ

- ①ドリームハイツ⇨戸塚バスセンターの路線に導入
- ②朝と夕方に、大型バスと連節バスが混在して運行（昼は大型バスのみ）
- ③連節バスは、日立入口（戸塚方面）と消防署前（両方向）を通過予定



同じ内容を本市ウェブサイトからもご覧いただけます

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bus\\_kotsu/soukou/soukoukankyou.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/kotsu/bus_kotsu/soukou/soukoukankyou.html)

連節バスの導入路線において、輸送力を確保しつつ許容できる範囲で運行便数を減らす一方で、生み出された経営資源で他の路線を強化・維持します

### 取組 1

収支の悪い「下飯田方面」を増便  
利便性を高めます

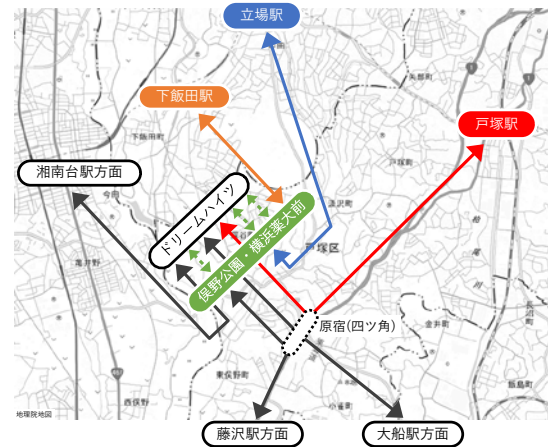
※駅前広場完成後の下飯田駅で折返しした場合の想定です

### 取組 2

利用者が減少している「立場方面」の  
路線を当面維持します

### 取組 3

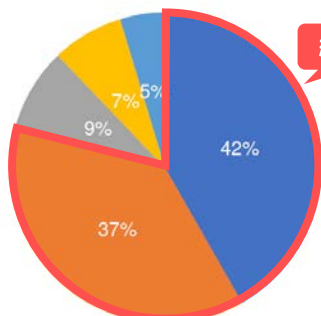
俣野公園・横浜薬大前での  
立場・藤沢方面への乗継を強化します



## アンケート結果

## 約8割の方が取組の必要性を認識

バス路線を維持していくための取組について  
（N=1729）



約8割

一方で心配も…



昨年10月に、この取組に関係の深い地域と、バスを利用されている方向けにアンケート調査を実施し、約8割の方がこの取組が「必要」または「どちらかといえば必要」と回答されました。

必要・どちらかといえば必要 と回答された方

「減便は仕方ないけどある程度の便数は確保してほしい」

不必要・どちらかといえば不必要 と回答された方

「減便は困る」  
「バス路線を維持するために別の方法もあるのでは？」  
「乗降に時間がかかって道路が混みそう」

などのご意見もいただきました。

次回は…

今後のスケジュールや、いただいたご意見やご心配への回答（対応策案）、連節バスはどんな乗り物なのか その特徴などをご紹介します予定です

《この取組に関するご意見・お問い合わせはこちらまで》

横浜市道路局計画調整部企画課（交通計画班） 電話：045-671-3800 ファクス：045-651-6527 Eメール：do-koutsuu@city.yokohama.jp